

学期	月	時数	教科書ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例
						①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
<b>1部 歴史の扉</b>						
1学期	4	1	p.1-4	1章 歴史と私たち	私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	①身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 ②身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し、表現している。
1学期	4	1	p.5-10	2章 歴史的特質と資料 1 資料を取り扱ってみよう 2 歴史叙述とは何か考えてみよう	私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	①絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と、事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解している。
<b>2部 近代化と私たち</b>						
1学期	4	2	p.13-19	序章 近代化への問い	「近代化」について考察しよう！	①近代化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 ②資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。 ③中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。
				1章 江戸時代の日本と結び付く世界	18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。	①18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について、資料を読み取り、理解している。 ②「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③18世紀の世界交易が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
1学期	4	1	p.21-22	1 アジアのなかの江戸幕府	江戸時代の日本と世界は、どのように結び付いていたのだろうか。	①16～17世紀にアジア諸国の交易が盛んになった様子を概観し、そのなかで日本が「四つの窓口」による限定的な交易を行ったことを理解している。 ②江戸幕府が貿易を統制した目的について考察し、表現している。
1学期	4	1	p.23-24	2 成熟する江戸社会	江戸時代後期の日本は、どのような社会だったのだろうか。	①江戸時代の日本について、農業が発展し、交通網が整備されたこと、平和で安定した社会のなかで教育が普及し、学問の発達がみられたことを理解している。 ②江戸時代の社会について、幕末以降の日本の近代化との関連を考察し、表現している。
1学期	5	1	p.25-26	3 清の繁栄と結び付く東アジア	18世紀の清は、アジアやヨーロッパとどのように結び付いていたのだろうか。	①18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。 ②銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。
1学期	5	1	p.27-28	4 アジア・アメリカに向かうヨーロッパ	17～18世紀のアジアやアメリカでは、どのような貿易が展開されていたのだろうか。	①イスラーム帝国の繁栄とヨーロッパ諸国のアジア、アメリカへの進出について理解している。 ②大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。
				2章 欧米諸国における近代化	欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。	①市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について、資料を読み取り、理解している。 ②市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し、みずからの言葉で表現している。 ③市民革命や産業革命が、現代社会に与えた影響と課題について、追究しようとしている。
1学期	5	1	p.33-34	1 イギリスの革命とアメリカの独立	イギリスの革命とアメリカの独立戦争によって、どのような政治体制が生まれたのだろうか。	①イギリスの革命とアメリカの独立によって成立した、それぞれの政治体制について、啓蒙思想に着目して理解している。 ②イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察し、表現している。
1学期	5	1	p.35-36	2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け	フランス革命によって、政治と社会はどのように変化したのだろうか。	①フランス革命の理念を人権思想に着目して理解している。 ②フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのかを考察し、根拠に基づいて表現している。
1学期	5	1	p.37-38	3 フランス革命の影響と国民意識の芽生え	フランス革命は、当時のヨーロッパやアメリカ大陸の政治にどのような影響を与えたのだろうか。	①ナポレオンによってフランス革命の成果がどのように定着し、その失脚後にはどのような国際的枠組みが作られたのか理解している。 ②ナポレオンの果たした役割を近代化の進展という観点から考察し、表現している。
1学期	5	1	p.39-40	4 産業革命で変わる社会	産業革命は、近代社会の形成にどのような役割を果たしたのだろうか。	①産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 ②産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。
1学期	5	1	p.41-42	5 イギリスの繁栄と国際分業体制	欧米による世界市場の形成は、世界をどのように変えていったのだろうか。	①「世界の工場」とよばれたイギリスの繁栄について、内政・外交の両面から理解している。 ②資本主義の展開や国際分業体制の形成によって、世界各地でどのような変化が現れたかについて考察し、表現している。

学期	月	時数	教科書ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
<b>3章 近代化の進展と国民国家形成</b>						近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。
1学期	6	1	p.47-48	1 1848年～近代ヨーロッパの転換点	1848年を境に、ヨーロッパではどのような社会に変化していったのだろうか。	①国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況について資料を読み取り、理解している。 ②国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
1学期	6	1	p.49-50	2 イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化	イタリア・ドイツ・ロシアではどのように近代国家形成を展開したのだろうか。	①国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 ②1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯と特徴について考察し、表現している。
1学期	6	1	p.51-52	3 アメリカの拡大と第2次産業革命	アメリカは、どのようにして国内統一と工業化を達成したのだろうか。	①イタリア・ドイツの統一とロシアの改革を推進した人物に着目して、これらの国々の近代化について理解している。 ②ドイツとロシアの近代国家形成の特徴について、考察し、表現している。
1学期	6	1	p.53-54	4 帝国主義と世界の一体化	第2次産業革命後、世界規模でどのような変化があったのだろうか。	①アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争について、国内の一体化と経済発展に着目して理解している。 ②アメリカが工業大国になった原因について、科学技術や経済に着目して考察し、表現している。
<b>4章 アジア諸国の動揺と日本の開国</b>						近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。
1学期	6	1	p.57-58	1. 「西洋の衝撃」と西アジアの変化	イスラーム諸国は、ヨーロッパ諸国の進出により、どのような影響を受けたのだろうか。	①19世紀末の世界の一体化について、帝国主義政策による列強諸国の植民地獲得競争に着目して理解している。 ②帝国主義政策や移民による大規模な人口移動が、アジアとアフリカに何をもたらしたのかについて考察し、表現している。
1学期	6	1	p.59-60	2 南・東南アジアの植民地化	どのようにして、アジアの各地にヨーロッパの植民地が形成されていったのだろうか。	①欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 ②「西洋の衝撃」の歴史的意義について、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、みずからの言葉で表現している。 ③欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
1学期	7	1	p.61-62	3 ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争	清は、ヨーロッパ諸国の進出に対してどのように対応したのだろうか。	①ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3か国がそれぞれどのような対応をとったのか理解している。 ②オスマン主義とパン=イスラーム主義の違いとそれらが生まれた背景について考察し、表現している。
1学期	7	1	p.63-64	4 黒船の来航と日本の対応	日本は、欧米諸国の進出に対して、どのように対応したのだろうか。	①ヨーロッパ諸国の進出によって、南・東南アジア諸国が採ったさまざまな反応を、行動主体に着目して理解している。 ②植民地になった地域の社会がどのように変化したか考察し、表現している。
1学期	7	1	p.65-66	5 新体制の模索と江戸幕府の滅亡	日本では、近代化を受け入れるにあたり、どのような対立があったのだろうか。	①ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応と結果を、行動主体に着目して理解している。 ②アヘン戦争とアロー戦争によって、清とヨーロッパ諸国の貿易や外交関係がどのように変化したか考察し、表現している。
<b>5章 近代化が進む日本と東アジア</b>						日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。
1学期	7	1	p.71-72	1 新政府の誕生	明治維新により、日本はどのような国家に変化したのだろうか。	①欧米諸国に対して日本側が採った対応を、行動の主体(幕府と各藩)に着目して理解している。 ②清と日本の欧米諸国への対応における相違点を挙げ、その理由について考察し、表現している。
1学期	7	1	p.73-74	2 近代国家を目指す日本	日本は、近代国家となるために、どのような政策を進めていったのだろうか。	①欧米諸国の進出によって生じた、明治維新へ向けた日本の政治の変化を、行動主体とねらいに着目して理解している。 ②旧幕府軍と新政府軍の考え方の違いと近代化との関連について考察し、表現している。
1学期	7	1	p.75-76	3 日本と清の近代化と日清戦争	近代化の進展により、日本・清・朝鮮の国際関係は、どのように変化したのだろうか。	①明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について、資料を読み取り、理解している。 ②明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
1学期	7	1	p.77-78	4 列強の中国進出と日露戦争	日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。	①日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。 ②明治維新の前後で国のしくみと身分制がどのように変化したか考察し、表現している。
1学期	7	1	p.77-78	4 列強の中国進出と日露戦争	日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。	①大日本帝国憲法制定と外交に基づく領土の画定について、背景と過程を理解している。 ②近代国家となった日本の政治に国民がどの程度参加できたか考察し、表現している。
1学期	7	1	p.77-78	4 列強の中国進出と日露戦争	日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。	①日本・清・朝鮮、それぞれの近代化政策と日清戦争の経緯について理解している。 ②日清戦争の結果、東アジアの関係がどのように変化したか考察し、表現している。
1学期	7	1	p.77-78	4 列強の中国進出と日露戦争	日清戦争の後、日本や清では、どのような変化があったのだろうか。	①日清戦争後の清と日本の改革を比較し、その対応や状況の違いを理解している。 ②日露戦争に伴う日本と欧米諸国の関係の変化について、その要因を考察し、表現している。
2学期	9	1	p.79-80	5 日露戦争が与えた影響	日露戦争の結果は、世界の各国にどのような影響を与えたのだろうか。	①日露戦争と日本の対外進出が、アジア各地の人々にどのような影響を与えたかについて理解している。 ②辛亥革命が起こった原因を、政治体制に関する対立や日露戦争の影響を踏まえて考察し、表現している。

学期	月	時数	教科書ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
2学期	9	2	p.83-84	「近代化」を振り返り現代的な諸課題と結び付けて考えよう!	現代の諸課題を通し、近代化とは何だったのかを考察しよう。	①2部で学習したことを基に、近代化を特色づける四つの項目についてまとめ、近代化の特徴を理解している。 ②2部序章で立てた問いに対し、キーワードとなる五つの視点のいずれかから考察し、資料を用いて根拠を明らかにし、みずからの見解を表現している。 ③近代化に関連する現代の課題について考察し、歴史的な経緯を踏まえたうえで解決策を追究しようとしている。
<b>3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち</b>						
2学期	9	1	p.87-93	序章 国際秩序の変化や大衆化への問い	「国際秩序の変化や大衆化」について考察していこう!	①国際秩序の変化や大衆化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 ②資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、国際秩序の変化や大衆化を読み解く問いを表現している。 ③中学校までの学習を踏まえて、見通しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。
<b>1章 第一次世界大戦と日本の対応</b>					第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。	①国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	9	1	p.95-96	1 ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張	ドイツとロシアの対外政策の変更は、どのような対立を生んだのだろうか。	①ドイツとロシアの対外政策の変更によって、バルカン半島で国際的な利害が対立していったことを理解している。 ②ドイツの政策がヨーロッパ諸国の対立や同盟に与えた影響について考察し、表現している。
2学期	9	1	p.97-98	2 総力戦となった第一次世界大戦	世界の国々とその国民は、どのようにして第一次世界大戦に関わっていったのだろうか。	①第一次世界大戦が総力戦化した構造を理解している。 ②第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察し、表現している。
2学期	9	1	p.99-100	3 ロシア革命と大戦の終結	どのようにして、ロシアで社会主義政権が誕生していったのだろうか。	①ロシアで革命が発生した背景や経緯を理解している。 ②ロシア革命の影響で「終わったもの」と「始まったもの」について考察し、表現している。
<b>2章 国際協調と大衆社会の広がり</b>					欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。	①ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化について、資料を読み取り、理解している。 ②新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	9	1	p.107-108	1 ヴェルサイユ体制の成立	第一次世界大戦後、どのような国際秩序が形成されたのだろうか。	①第一次世界大戦後、国際連盟が形成された経緯について理解している。 ②ヴェルサイユ体制と国際連盟の課題について考察し、表現している。
2学期	10	1	p.109-110	2 東アジアの民族自決の行方	第一次世界大戦後、東アジアではどのような変化が起こったのだろうか。	①朝鮮と中国における民族運動の高まりと、列強によるワシントン体制の成立について理解している。 ②中国の人々にとって、ワシントン体制がどのようなものであったかを考察し、表現している。
2学期	10	1	p.111-112	3 中東・インドの民族自決の影響	第一次世界大戦は、中東諸国やインドにどのような影響を与えたのだろうか。	①中東とインドの民族運動の経緯と現代まで続く課題について理解している。 ②中東とインドにおける国民国家形成における課題について考察し、表現している。
2学期	10	1	p.113-114	4 ヨーロッパの復興と大衆の政治参加	第一次世界大戦後、人々はどのようなことを望んだのだろうか。	①大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと大衆による政治参加が進んだことについて理解している。 ②大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察し、表現している。
2学期	10	1	p.115-116	5 大衆社会の出現とアメリカの繁栄	第2次産業革命以降、欧米などで形成された大衆社会とは、どのようなものだろうか。	①大衆社会の成立と大衆文化の特徴について理解している。 ②大量生産・大量消費やマスメディアの発達に伴う問題について考察し、表現している。
2学期	10	1	p.117-118	6 日本における大衆社会の形成	日本では、どのようにして大衆社会が形成されていったのだろうか。	①日本における大衆の政治参加と大衆社会の形成について理解している。 ②大正時代の日本におけるデモクラシーの達成点と課題について考察し、表現している。
<b>3章 日本の行方と第二次世界大戦</b>					大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。	①世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら、資料を読み取り、理解している。 ②ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、みずからの言葉で表現している。 ③世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	10	1	p.123-124	1 世界恐慌が与えた影響	世界恐慌は、国際協調体制にどのような影響を与えたのだろうか。	①世界恐慌への各国の対応が世界情勢に与えた影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解している。 ②ブロック経済のねらいと、その国際的な影響と問題点について考察し、表現している。

学期	月	時数	教科書ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
2学期	10	1	p.125-126	2 ファシズムの台頭と拡大	ファシスト党やナチ党は、どのようにして人々をひき付けていったのだろうか。	①ドイツ・イタリアのファシズム勢力が大衆をひき付けた理由と経緯について理解している。 ②ファシズム勢力に、大衆が同調したり、見過ごしたりした理由と課題について考察し、表現している。
2学期	11	1	p.127-128	3 政党政治の断絶と満洲事変	なぜ、日本は満洲への進出したのだろうか。	①満洲事変という事態を日本の大衆が支持するに至る経緯を、背景となった恐慌の苦難という観点から理解している。 ②日本の大衆や政府が、軍部による満洲進出を止められなかった理由について考察し、表現している。
2学期	11	1	p.129-130	4 日中戦争の始まり	なぜ、日本は日中戦争へと突き進んでいったのだろうか。	①大衆の支持を背景に台頭した軍部が、政治的発言力を強めて軍備を増強し大陸侵略を目指すに至った経緯を理解している。 ②日本がイギリス・アメリカとの協調をやめ、ドイツ・イタリアに接近した背景について考察し、表現している。
2学期	11	1	p.131-132	5 第二次世界大戦の展開	第二次世界大戦は、どのようにして世界規模の戦争になっていったのだろうか。	①ヨーロッパから、アジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯について、理解している。 ②日本が、中国だけでなくアメリカと戦争を始めた理由について考察し、表現している。
2学期	11	1	p.133-134	6 戦局の悪化と被害の拡大	第二次世界大戦は、どのように進展したのだろうか。	①日本は侵略を正当化しつつ、アジア・太平洋に戦線を拡大したこと、ドイツ・イタリアが無条件降伏したことを理解している。 ②日本が総力戦遂行のために国内外で行ったことについて、当時と現在の視点で考察し、表現している。
2学期	11	1	p.135-136	7 第二次世界大戦の終結とその惨禍	第二次世界大戦は、どのようにに終結し、どのような問題を残したのだろうか。	①日本がポツダム宣言を受諾するに至る経緯や被害の甚大さ、終戦後の日本とアジア諸国の関係にある深い傷あとについて理解している。 ②なぜ第二次世界大戦では多くの犠牲者が出るようになったのかを考察し、表現している。
<b>4章 再出発する世界と日本</b>					第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのだろうか。	①冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら資料を読み取り、理解している。 ②国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで、戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し、みずからの言葉で表現している。 ③大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
2学期	11	1	p.143-144	1 戦後の新たな国際秩序	第二次世界大戦後、どの国々を中心として、どのような国際体制が作られたのだろうか。	①日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和と協力について理解している。 ②国際連合について、国際平和の維持に対する達成点と課題を、国際連盟との相違も踏まえて考察し、表現している。
2学期	11	1	p.145-146	2 冷戦の始まり	アメリカとソ連の対立は、ヨーロッパにおいてどのような形で表れたのだろうか。	①米ソ対立と東西冷戦という戦後の理想から現実への転換と、対立を克服しようとするヨーロッパの統合の試みについて理解している。 ②冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。
2学期	12	1	p.147-148	3 日本撤退後の東アジア	日本軍が撤退したあとのアジア諸国は、どのように主権を獲得していったのだろうか。	①アジア諸国の独立運動が冷戦構造に組み込まれていく経緯について理解している。 ②独立を達成した国が、なぜ東西勢力にくみしていきのかについて考察し、表現している。
2学期	12	1	p.149-150	4 日本の改革と独立の回復	占領下の日本では、どのような国が目指され、どのように独立を回復したのだろうか。	①日本の民主化と、東西冷戦が日本に与えた影響について理解している。 ②日本が独立回復の際に、全面講和ではなく多数講和を選択した理由について考察し、表現している。
2学期	12	2	p.151-152	「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り現代の諸課題と結び付けて考えよう!	現代の諸課題を通し、国際秩序の変化や大衆化について考察しよう。	①3部で学習したことを基に、国際秩序が大きく変化した、大衆化が進んだ時期についてまとめ、その特徴を理解している。 ②3部序章で立てた問いに対し、キーワードとなる5つの視点のいずれかから考察し、資料を用いて根拠を明らかにして、みずからの見解を表現している。 ③国際秩序の変化や大衆化に関連する現代の課題について考察し、歴史的な経緯を踏まえたうえで解決策を追究している。
<b>4部 グローバル化と私たち</b>						
3学期	1	1	p.153-157	序章 グローバル化への問い	「グローバル化」について考察しよう!	①グローバル化に関する複数の資料を分析し、そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 ②資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を総合し、グローバル化を読み解く問いを表現している。 ③中学校までの学習を踏まえて、見直しをもって学習に取り組もうとし、問いを繰り返し洗練させていくなど、粘り強く取り組もうとしている。
<b>1章 冷戦で揺れる世界と日本</b>					冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのだろうか。	①冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 ②冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 ③冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
3学期	1	1	p.159-160	1 アメリカ・ソ連の緊張と緩和	アメリカとソ連の緊張と緩和は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。	①スターリン批判以降の冷戦の緊張と緩和について、各国の国内の動向および相互の関係に着目して理解している。 ②アメリカやソ連が核兵器を保有する理由とその負担について考察し、表現している。

学期	月	時数	教科書ページ	項目(タイトル)	章の課題/節の学習課題	評価規準の具体事例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度 ※③は設置する場合の事例として掲載。
3学期	1	1	p.161-162	2 冷戦下における日本の復興	日本は、どのような国内外の状況のなかで高度経済成長を遂げたのだろうか。	①高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。 ②日本が高度経済成長を達成することができた要因について、国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。
3学期	1	1	p.163-164	3 第三勢力の形成と脱植民地化	冷戦が激しくなるなか、アジア・アフリカの脱植民地化はどのように展開したのだろうか。	①第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解している。 ②独立後のアジア・アフリカ諸国の状況を踏まえ、脱植民地化を進めるうえでの問題点を考察し、表現している。
3学期	1	1	p.165-166	4 中東戦争とパレスチナ問題	なぜ、中東の問題が、世界中に影響を与えたのだろうか。	①パレスチナ問題と中東戦争が、国際社会にどのような影響を与えたかについて理解している。 ②中東で20世紀後半に混乱が続いた要因について考察し、表現している。
2章 多極化する世界					冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような経済成長を遂げたのだろうか。	①冷戦下の1960年代から80年代における各国の選択と経済成長について、資料を読み取り、理解している。 ②各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、みずからの言葉で表現している。 ③冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
3学期	2	1	p.171-172	1 揺らぐアメリカと先進各国の変化	1960～70年代のアメリカが抱えた問題は、国際社会にどのような影響を与えたのだろうか。	①ベトナム戦争がアメリカ社会と国際社会に与えた影響を理解している。 ②ニクソンショックが国際社会に与えた影響について考察し、表現している。
3学期	2	1	p.173-174	2 「経済大国」日本の模索	1970～80年代の日本が抱えた国内外の問題は、どのようなものか。	①1970～80年代の日米経済摩擦と、アジア諸国との関係回復について理解している。 ②「経済大国」となった日本が抱える国際的な課題と求められる貢献について考察し、表現している。
3学期	2	1	p.175-176	3 経済発展に取り組むアジア・南米諸国	なぜ、東アジア・東南アジアの国々は経済成長に成功したのだろうか。	①東アジア・東南アジア・南米の国々がどのような形で経済発展を目指したのかについて、冷戦との関係を踏まえ理解している。 ②経済発展に成功した国々の共通点について考察し、表現している。
3学期	2	1	p.177-178	4 イスラーム復興と冷戦への影響	イラン＝イスラーム革命は、世界にどのような影響を与えたのだろうか。	①イラン＝イスラーム革命とソ連のアフガニスタン侵攻について、事実に基づく知識および背景を理解している。 ②なぜイラン＝イスラーム革命の成功は、世界の人々に衝撃を与えたのかについて考察し、表現している。
3章 グローバル化のなかの世界と日本					冷戦が終わり、グローバル化は、世界をどのように変えたのだろうか。	①冷戦終結の過程とグローバル化の特質について、資料を読み取り、理解している。 ②グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点をみずからの言葉で表現している。 ③冷戦の終結とグローバル化の進展が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。
3学期	2	1	p.185-186	1 冷戦の終結と変わる世界構造	冷戦体制が終結したことで、世界構造はどのように変化したのだろうか。	①冷戦の終結により、グローバル化が進み、世界構造が変化したことを理解している。 ②冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進んだりしたのかについて考察し、表現している。
3学期	3	1	p.187-188	2 冷戦の終結が与えた世界への影響	冷戦の終結は、アジアの国々にどのような影響を与えたのだろうか。	①冷戦終結の過程で、世界各地で民主化の動きが高まったこと、その一方で残る課題について理解している。 ②第二次世界大戦終結以降、民主化がどのように推移したかについて地域を選択して考察し、表現している。
3学期	3	1	p.189-190	3 超大国アメリカと中東情勢	なぜ、アメリカは中東情勢に関与し続けるのだろうか。	①冷戦以前から続く中東の状況やアメリカの関与、戦乱に伴う難民問題について理解している。 ②「対テロ戦争」が自衛戦争といえるか考察し、表現している。
3学期	3	1	p.191-192	4 国際環境の変化と日本	国際環境の変化によって、日本の政治や社会は、どのように変わったのだろうか。	①冷戦終結後、日本の国際的役割と国内の政治情勢が変化したことや、現在の国際秩序がグローバル化の進展のなかで形成されたものであることを理解している。 ②グローバル化が進むなかでの日本の役割について、求められるものと課題を考察し、表現している。
3学期	3	1	p.193-194	5 グローバル化による国際社会の変容	グローバル化のさらなる進展により、国際社会はどのように変わってきたのだろうか。	①グローバル化に伴う多極化や反グローバル化運動への対応、多様性の容認などをみずからの問題として理解している。 ②グローバル化のデメリットを一つ選択し、その解決策について考察し、表現している。
3学期	3	4	p.195-198	これまでの学習を振り返り 現代的な諸課題の形成と展望を考えよう！	現代の諸課題をグローバル化という視点から考察しよう	①4部で学習したことを基に、グローバル化についてメリットとデメリットについてまとめ、その特徴を理解している。 ②歴史を読み解く5つの視点を踏まえ、これまで学習した内容から現代的な諸課題を一つ取り上げて探究の方向性を決める問いを設定し、教科書やほかの資料を用いてまとめたうえで、課題の解決へ向けた見解を表現している。 ③みずから設定した問いに対し、学習して身につけた知識や教科書、その他の資料を活用して、課題の解決のために、主体的・計画的に探究学習に取り組もうとしている。